

第 101 回大腸癌研究会リンパ節委員会 議事録

2024 年 7 月 11 日 (木) 14:30~15:30

名古屋コンベンションホール 4F 409 + WEB

<出席者 (敬称略)>

金光幸秀 (国立がん研究センター中央病院)、神藤英二 (防衛医科大学校)、小川真平 (東京女子医科大学)、小澤平太 (栃木県立がんセンター)、野澤宏彰 (東京大学)、川村純一郎 (近畿大学)、尾崎公輔 (がん研有明病院 ※代 川合一茂)、秋吉高志 (がん研有明病院)、塩澤 学 (神奈川県立がんセンター)、女屋博昭 (愛知県がんセンター)、三口真司 (県立広島病院)、渡邊 純 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)、須藤 剛 (山形県立中央病院)、大内晶 (愛知県がんセンター)、片岡幸三 (兵庫医科大学)、池田 聡 (県立広島病院)、丸山 聡 (新潟県立がんセンター新潟病院)、高山裕司 (自治医科大学)、安井昌義 (大阪国際がんセンター)、高見澤康之 (事務局、国立がん研究センター中央病院)

<WEB 出席者 (敬称略)>

吉田武史 (久留米大学)

<議事>

リンパ節委員会で検討中の 4 つの課題について、各小委員会から進捗の報告がなされた。

(1) 課題 1. N3 分類の再定義

- ・ 検討課題「リンパ節獲得個数が予後に及ぼす影響の再考」 発表 片岡先生
大腸癌研究全国登録データを用いて、stage II/III 結腸癌を対象とし腫瘍局在(右側/左側)、stage 別のリンパ節検索個数の意義を明らかにする (予後不良となるリンパ節検索個数の至適カットオフ値を検索する)。現在解析中。
- ・ 検討課題「結腸癌における郭清効果 index の検討」 発表 大内先生
大腸癌研究全国登録データを用いて、結腸癌における郭清効果 index の検討を行う。
R0 切除された stage I-III 結腸癌で前治療のっていない症例を対象。現在解析中。

(2) 課題 2. リンパ節転移陽性基準の検討

発表 小川先生
結腸間膜 LN、直腸間膜 LN (前治療あり)、直腸間膜 LN (前治療なし)、直腸側方 LN (前治療あり)、直腸側方 LN (前治療なし) それぞれの条件における術前リンパ節診断能に関する論文のシステマティックレビュー、メタアナリシスの経過が報告された。結腸間膜 LN に関してはサイズだけでの検討は論文数に限りがあるため、形態学的特徴と

PET-CT に関する論文を加えたもので追加解析を予定。直腸間膜 LN 転移（前治療あり）は 29 本の論文を対象に解析中。直腸側方 LN 転移（前治療あり）に関しては現在論文作成中。直腸側方 LN 転移（前治療なし）は 13 本の論文を対象に解析中。総括として Review 論文の作成も検討している。

(3) 課題 3. 側方リンパ節アトラスの作成

発表 渡邊先生

前回は主な 4 割面（臍動脈索、内陰部動脈、アルコック管、閉鎖孔）におけるアトラス案が提示され、今回は 2 割面が新たに追加された。術中写真ではなくイラストを用いたアトラス作成を検討しており、イラストにかかる予算は 30 万円程度の見込み（男性、女性どちらも作成する場合は増える可能性あり）。イラスト作成にかかる費用に関してはリンパ節委員会の予算で支払いを行う方針となった。各リンパ節 station の具体的な範囲については今後小委員会で協議を行い、検討を行う（次回のリンパ節委員会までには一度 Web ミーティングを行う予定）。

(4) 課題 4 副右結腸静脈周囲リンパ節の取扱いに関する検討

発表 三口先生

プロトコールは大腸癌研究会倫理審査委員会で承認され、県立広島病院での多機関共同研究の一括審査で承認された。委員会ではキックオフミーティングとして研究のプロトコールが再度共有された。2024 年 7 月 15 日～試験登録開始予定。

データ登録はファイルメーカーを用いて行うが、ファイルメーカーを導入していない施設が複数あり、こちらについてはリンパ節委員会の予算でファイルメーカーのライセンス購入を検討する。今後メールにてファイルメーカーが必要な施設の確認を行う予定。

以上、4つの課題の進捗と今後の方針が提示された。今後も課題ごとに進めていく方針。

（文責：事務局 高見澤康之）